

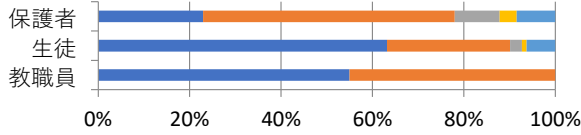
令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

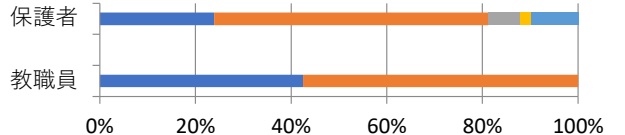
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

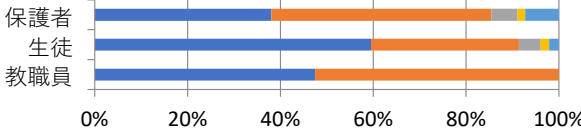


1 一人一人の児童生徒の尊重は、児童、教職員は「そう思う・どちらかといえばそう思う」が約9割を超えているが、保護者においては、「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」が昨年度から2ポイント上がって14パーセントであった。今後も児童の思いに寄り添いながら、保護者ともより連携を図っていく。2 道徳・心の教育の充実については、「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」が昨年度から4ポイント下がったものの、今後も、道徳の授業参観の実施など保護者への啓発を工夫していく。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

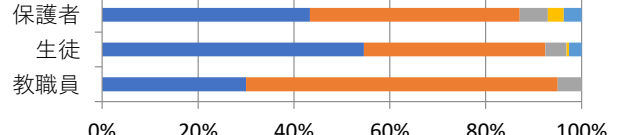
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

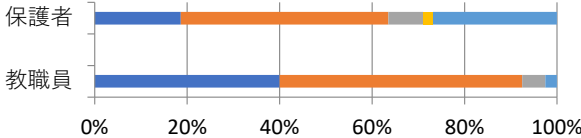


3 授業力向上は、92%の児童が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答している。「そう思わない」や「わからない」と回答している児童がいることを受け止め、個々の状況に応じた学習を保障することに努めていく。4 タブレット端末の活用については、「そう思う」と回答した保護者・児童の割合が、昨年度とほぼ変わらない結果であった。それに対して教職員で「そう思う」と回答した割合は27ポイント低下しており、教職員のタブレット学習に対する課題意識が高まっていることが伺える。今後も研修を深めていきたい。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

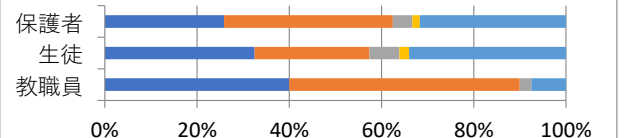
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



5 学校の支援体制及び6 共生社会を担う人材の育成については、「どちらかといえばそう思わない・そう思わない」と回答した保護者の割合は昨年度とほぼ変化がないものの、「わからない」と回答した保護者の割合がそれぞれ27%、32%だった。今後はさらに、本校の支援体制などについて保護者に対して情報発信していく必要がある。また、児童においては特別支援学級との交流学級と、そうでない学級の児童の意識の差が大きいと思われる。今後も、交流学級以外の児童との理解の場も増やし、相互理解が深まるよう努める。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>考察 7 安全と事故防止においては、保護者及び教職員の「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した割合は高いものの、児童の「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した割合は6割に達していない。さらに児童の安全に対する意識を高め、事故防止に努める必要がある。 8 家庭や地域との連携協力については、「そう思う・どちらかといえばそう思う」を合わせたポイントは、新型コロナウイルス感染症拡大以降微減傾向が見られる。学級通信やタブレット等も用いながら発信し、家庭・地域との効果的な活動を構築していきたい。</p>	

⑤ 自分から進んであいさつ・トイレのスリッパ並べ

9 学校独自 1	10 学校独自 2
お子さんは、自分から進んであいさつができていますか。	お子さんは、自分から進んでトイレのスリッパを並べていますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>考察 9 自分から進んであいさつでは、児童・教職員の「そう思う」と回答した割合が昨年より7～8ポイント上昇した。継続した取組により児童の意識の高まりが感じられる。10 トイレのスリッパ並べについては、三者とも「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した割合が約8割に達しておらず、昨年に比べ4～5ポイント減少している。今後も根気よく全ての児童がその意識をもって次の人への思いやりを表すことができるよう働きかけていきたい。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

11 学校独自 3	12 学校独自 4
お子さんは、ルールやきまりを守って生活していると思いますか。	お子さんは、思い通りにならないこともがまんして粘り強く取り組んでいると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>考察 11 規範意識については、三者とも昨年とほぼ変わらない回答状況であった。「どちらかというと思わない・そう思わない」と回答した児童の割合が1割いることを重く受け止め、今後も全職員で共通理解のもと指導を継続していきたい。12 粘り強さについては、「そう思う」と回答した保護者・教職員の割合が昨年度に比べ大きく上昇している。今後も様々な活動の中で友達と協力しながら粘り強く取り組んでいく態度を育てていきたい。</p>	

来年度の具体的な取組について

- ・コミュニケーションスキル育成の取り組み（たくなんタイム）を継続することとともに、普段の授業でのペアやグループでの対話活動の充実を図る。
- ・日常の学習でのタブレット使用が定着している中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るためにも、タブレット活用について研修を深めていきたい。
- ・「粘り強く取り組む姿」を具体的に示すことや道徳の学習等の充実を通して強い意志をもちやり抜く態度の育成に努めていく。

学校関係者評価

- ・学校内がとても整理されており、掲示物も工夫されている。安心安全な学習環境づくりがなされている。
- ・児童の登下校中の挨拶がとても良い。
- ・様々な支援を要する児童に対して、きめ細やかな対応がなされている。
- ・教育公務員として、児童への言葉かけなどに十分配慮してほしい。
- ・教師の仕事に誇りをもち、働き方改革を推進しながら、やりがいをもって業務を推進してほしい。